



令和8年度 糸島市立前原中学校

学校だより

令和8年9月30日(水) 文責 教頭 森 瑞樹

どのように時間を使うのか

10月23日に伊都文化会館で行う文化発表会に向けて、9月24日から各学級で合唱練習が始まりました。限られた時間の中、これから各学級の練習も熱を帯びてくるものと期待しています。

ここで50年ほど前に発行された、ある「学級通信」の一節を紹介します。

今月のことば

墨汁が、床にこぼれたら、「よごれた!」という。
絵の具が、壁に飛び散ったら、「よごした!」という。

同じ墨汁をつかって、白い半紙に文字を書く。「美しい!」という。
同じ絵の具をキャンパスに描く。「素晴らしい!」という。

同じ墨汁が、よごれにもなり、美しい作品も生み出す。
同じ絵の具が、よごれにもなり、素晴らしい作品も生み出す。

墨汁や絵の具で、よごれを作るのか、かがやく作品にするのか。
それは、すべて自分で決める。「かがやき」にするか、しないか。

墨汁や絵の具の作品だけではない。
同じことは、私たちの「生き方」でもいえる。

毎日の生活では、誰も似たようなことをしている。
人間が生きるためにつかう「材料」は、ほぼ共通している。

同じことをやりながら、「生き方」は、一人ひとり みな ちがう。

自分の生活のあとを、「よごれ」や「シミ」にすることがある。
自分の生活のあとを、「かがやき」にすることもできる。

僕らは弱いし、まだまだ未熟だ。
だから、ついつい「生活のあと」をよごしやすい。

同じことなら、「かがやき」に!
君のかがやきは、何でつくる?
あなたの求める「かがやき」は何ですか?

ハツ塚実『学級記録』1975より



ほぼ共通している合唱練習の時間を、学級の「かがやき」にすることができるか、23日の本番を今から楽しみにしています。

また、文化発表会に向けた時間の使い方以外にもふれたいと思います。

これまでもお知らせしてきたように、本校は文部科学省研究開発学校として時制を工夫し、生み出した時間を様々なかたちで活用しています。そのため、生徒一人ひとりが自ら選択・決定・実行できる時間(「材料」)が、他校よりも多く準備されています。

さて、全校生徒の皆さんは放課後の時間をどのように使っていますか?

日々の予習復習、定期考査対策、部活動、習い事、、、自分の「かがやき」にすることができているでしょうか。1年間の学校生活の前半が終わろうとしています。この機に改めて考えてみましょう。ご家庭でもお子様と「生き方」を話題にいただけると幸いです。

PTAに寄贈していただきました。

設置を手伝ってくれた、
ばるちゅうタイム
(ショート) ボランティア
コアコースの皆さん



このひな壇は合唱練習に欠かせないものですが、これまで毎年他校からお借りしていました。今回、PTAのご厚意で前原中学校専用のものを購入していただきましたので紹介いたします。大切に扱わせていただきます。ありがとうございました。

10月の行事予定

1日(木) 3年学力診断テスト	13日(火) 後期始業式(給食なし)
3日(土) 糸島区新人大会(サッカー・卓球・柔道・野球・バレー・バド・ソフト)	16日(金) IBAテスト
4日(日) 糸島区新人大会(サッカー・剣道)	21日(水) 筑前地区大会(駅伝)
7日(水) 前期終了式(給食なし)	23日(金) 文化発表会@伊都文化会館
8日(木) 秋季休業~12日(月)	24日(土) 糸島市中学校総合文化発表会@伊都文化会館
10日(土) 糸島区新人大会(バスケット・野球)、	筑前地区新人大会(新体操)
11日(日) 糸島区新人大会(バスケット)	30日(金) 前原中学校区事業公開授業@雷山小(午前中授業)
筑前地区新人大会(体操)	